

Microsoft Designer の使い方 (AI で作成編)

ここでは、無料で使える Microsoft Designer の AI 機能を使って、自由に画像を作成、編集する方法を学びましょう。

1 Microsoft Designer の概要

Microsoft Designer (マイクロソフトデザイナー) とは、Microsoft が開発した画像・イラストを生成できる AI ツールです。画像生成 AI の「DALL-E」が搭載されています。

最大の特徴は、生成した画像・イラストのデザインを編集できる点です。テキストを追加したり、色合いを変更したりといった機能が用意されています。

Microsoft Designer の主な特徴は次のとおりです。

- ① Microsoft Designer は、PC に何かインストールすることなく、Web ブラウザを開いて、Microsoft Designer のページを開くだけで、使用が可能です。
- ② Microsoft Designer を使えば、画像の作成方法についてあまり詳しくなくても、ブラウザ上で自分が作成したいデザインを選択していくだけで、さまざまな画像の生成することが可能です。
- ③ Microsoft Designer は、基本的に Microsoft アカウントを持っていれば誰でも利用できる上に、無料で使用することができます。

2 AI クレジットについて

(1) AI クレジットとは？

AI クレジットは、Microsoft 365 および Windows アプリケーション内での AI 機能の使用を測定するために用意されたもので、テキストの生成、テーブルの作成、イメージの編集など、AI に関連して行う各アクションでこのクレジットが消費されます。

(2) 取得できる AI クレジットの数は？

- ① 無料の Microsoft Designer アプリ (サブスクリイバー以外) のユーザーは、1 か月あたり 15 クレジットを受け取ります。

- (3) Microsoft 365 Personal および Family サブスクリイバーは、1 か月あたり 60 個の AI クレジットを取得します。これは、Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Microsoft Forms、OneNote、Microsoft Designer、メモ帳、Microsoft フォト、Microsoft ペイントなど、さまざまなアプリケーションで使用できます。

(4) AI クレジットの管理

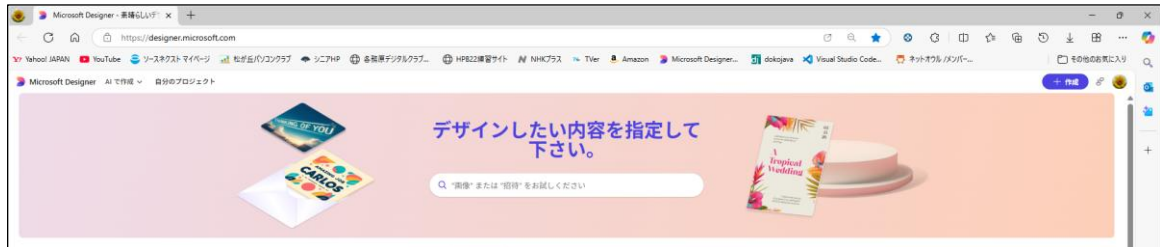
- ① AI クレジットは、支払いサイクルに関係なく、毎月最初の日にリセットされます。これは、無料プランと有料プランの両方に適用されます。
- ② 使用可能な AI クレジットの数を確認するには、アカウント ページ にアクセスします。

3 Microsoft Designer を開く

① <https://designer.microsoft.com/> にアクセスします。

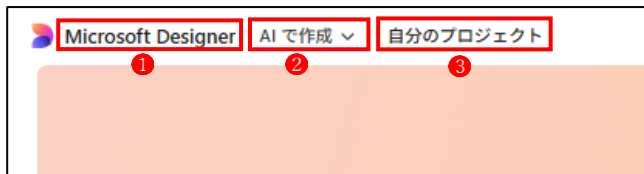
② 次のトップページが表示されます。

マイクロソフトアカウントでログインしていれば、すぐに使うことができます。



4 Microsoft Designer の画面構成

トップ画面の左サイドに 3 つのメニューが表示されています。

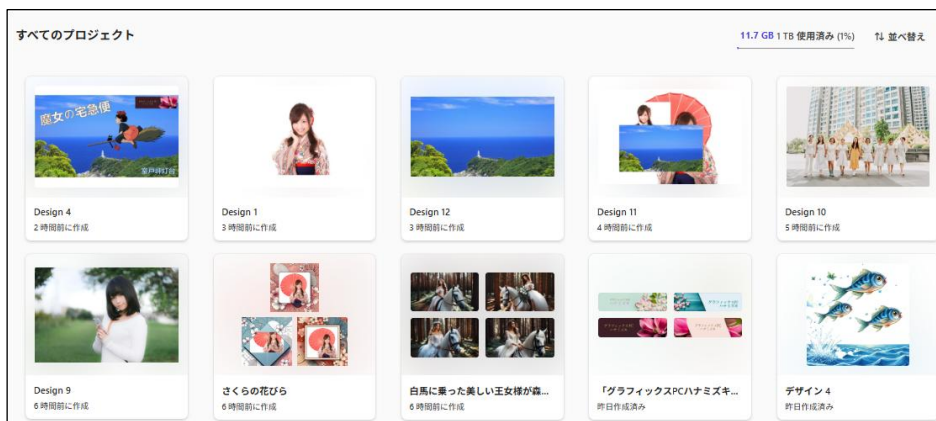


① Microsoft Designer → トップ画面が表示されます。

② AI で作成 → AI で作成の画面になります。

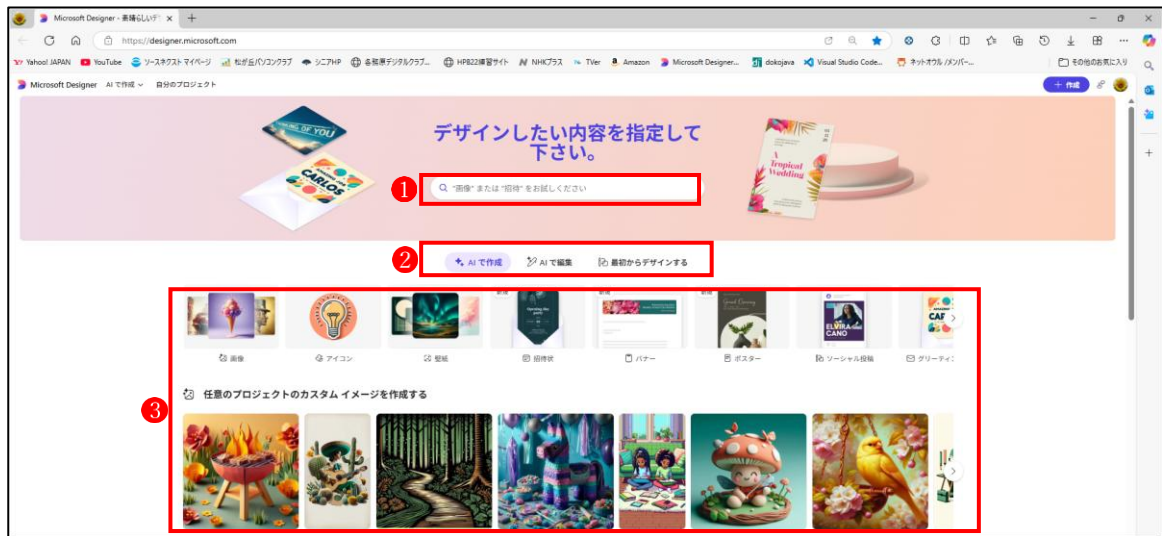


③ 自分のプロジェクト → 自分のプロジェクトの画面が表示されます。



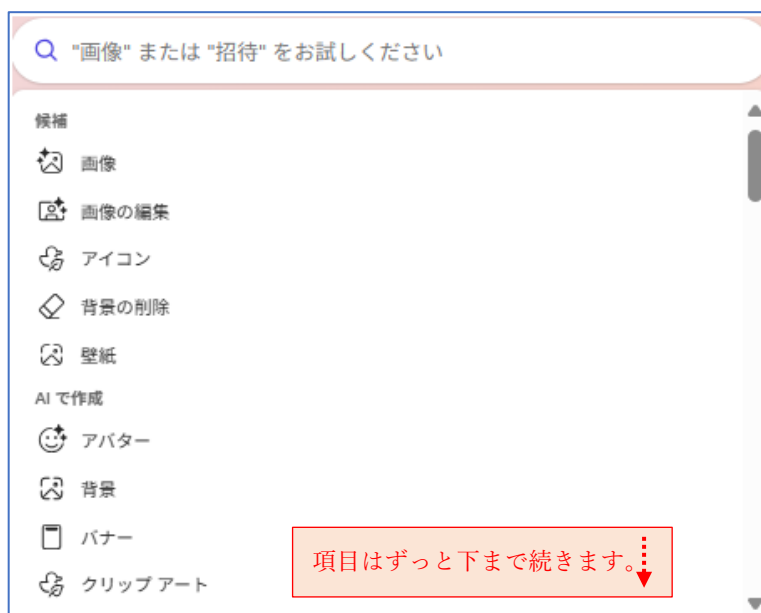
4 画像の作成、編集の使い方

トップ画面から画像の作成、編集作業に入ります。



(1) 検索窓から始める

使いたい機能をダイレクトに選択したい場合は、上の画面で検索窓①をクリックします。
→次の選択肢が表示されるので、自分が使いたい機能を選択して始めます。



(2) 機能別に始める

AI 機能②を次の選択肢から選びます。

① AIで作成



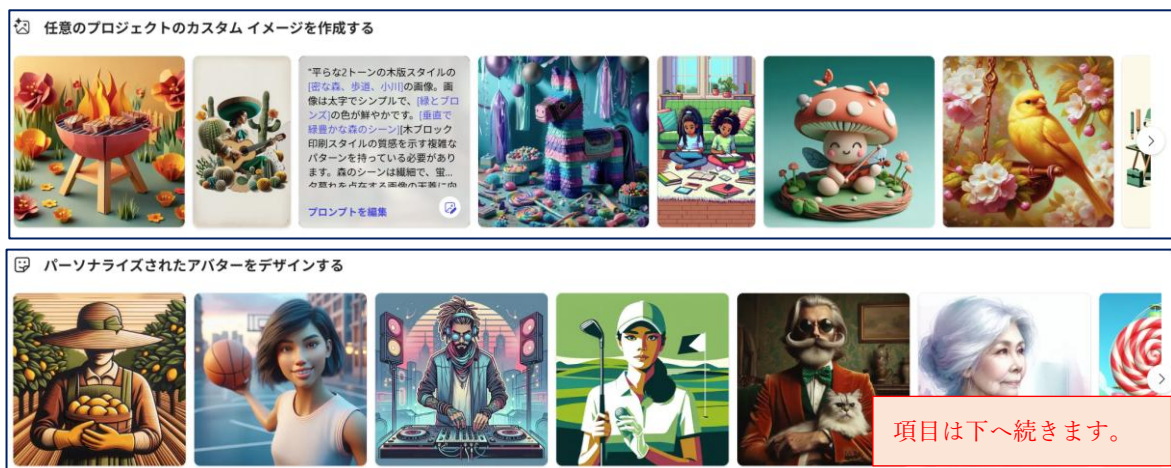
② AIで編集



③ 最初からデザインする



(3) あらかじめ分類別に用意されている候補デザイン③から始める



5 AIで画像を作成する

まずは「AIで作成」を使ってみましょう。

(1) 「画像」を作成する

① 「画像」①を選択します。



② 「説明」欄に自分が作成したい画像のイメージをテキスト②で入力し、次にサイズ③を選択します。

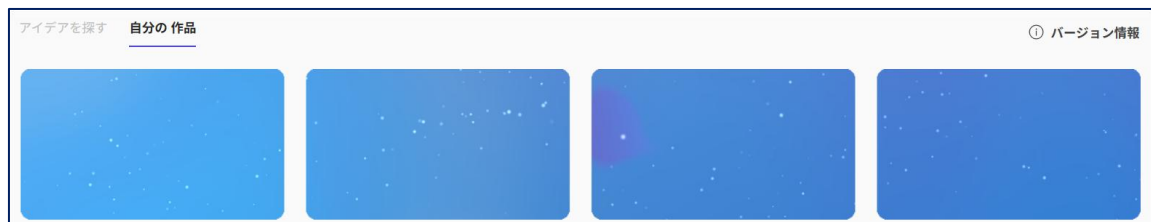


ここでは、「説明」に「白馬に乗った美しい王女様が森の中を逍遥している」^②と入力し、サイズは「横 1792×1024」^③を選択しました。

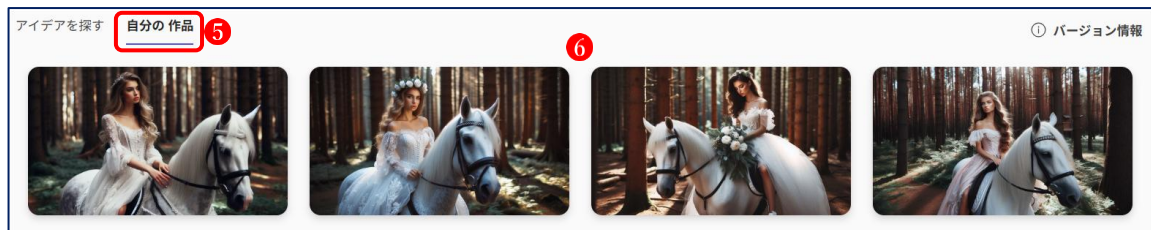


③ 「生成」ボタン^④をクリックします。

少しの時間、AI が画像を生成している状態が表示されます。



AI が生成した画像が「自分の作品」^⑤として 4 枚^⑥表示されます。



(2) 「アイデアを探す」に表示されている候補画像から「バナー」を作成する
次にバナーを作ってみましょう。

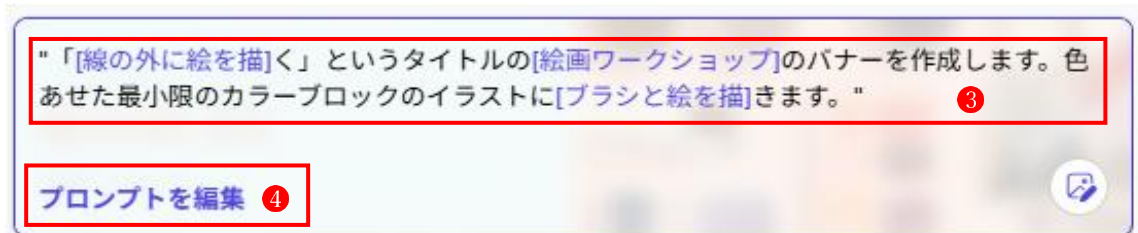
① 「バナー」^①をクリックします。



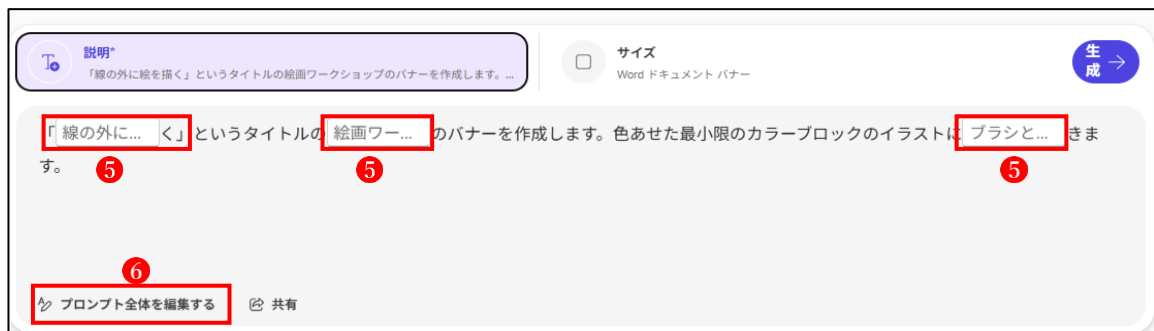
② 今度は、「アイデアを探す」に表示されている候補画像から作成してみます。
ここでは、候補の中から「線の外側に塗る」^②を選択します。



- ③ 選択した画像の上にマウスポインターを置くと、その画像生成の元となっているプロンプト（言葉の説明）③と「プロンプトを編集」という文字④が表示されます。



- ④ 表示されているプロンプト③をクリックするか、「プロンプトを編集」という文字④をクリックすると、次のように表示されます。



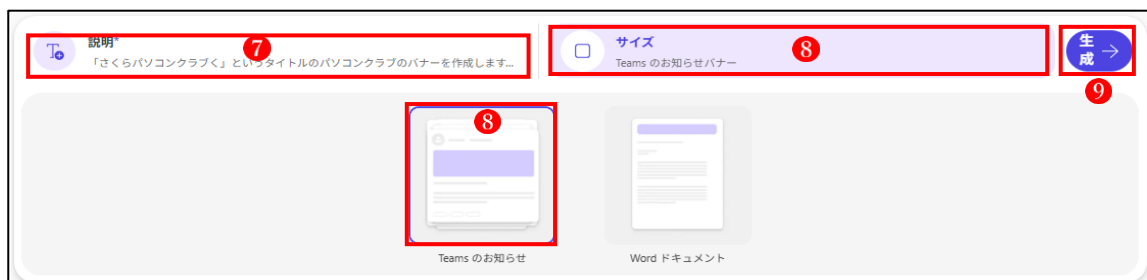
ここで、元のプロンプトを生かして画像を生成する場合は、「」⑤で囲まれている部分の文字を自分のバナーの目的に合った内容に書き換えます。

（例）・「線の外に絵を描く」→「さくらパソコンクラブ」

・「絵画ワークショップ」→「パソコンクラブ」

・「ブラシと絵を描」→「ノートパソコンと桜の花のイラストを描」

- ⑤ ここでは、④の（例）のとおりプロンプト を書き換えて画像を生成します。
なお、ここでのサイズは「Teams のお知らせ」⑧を選択します。

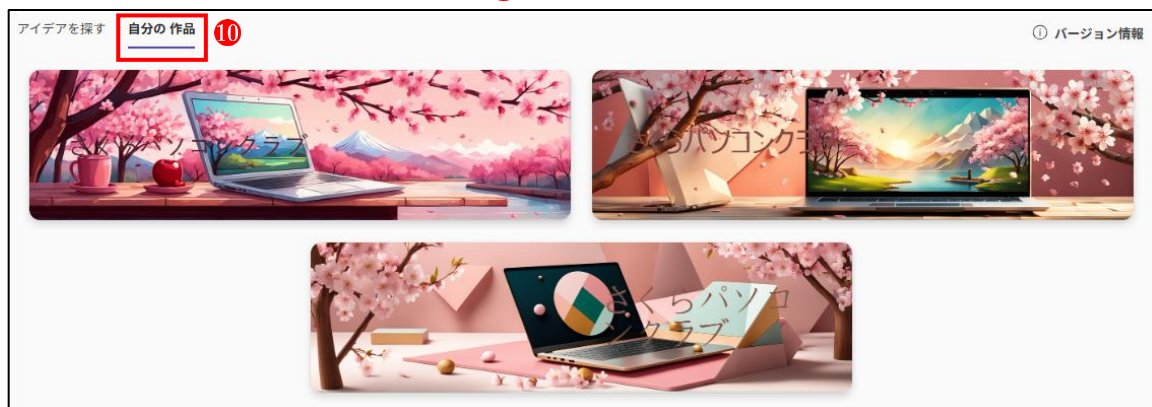


プロンプトの書き換えとサイズの選択が済んだら、「生成」ボタン⑨をクリックします。

- ⑥ 「生成」ボタンをクリックすると、しばらく AI が画像を生成している状態が表示されます。



- ⑦ AI が生成した画像が「自分の作品」⑩として3枚表示されました。

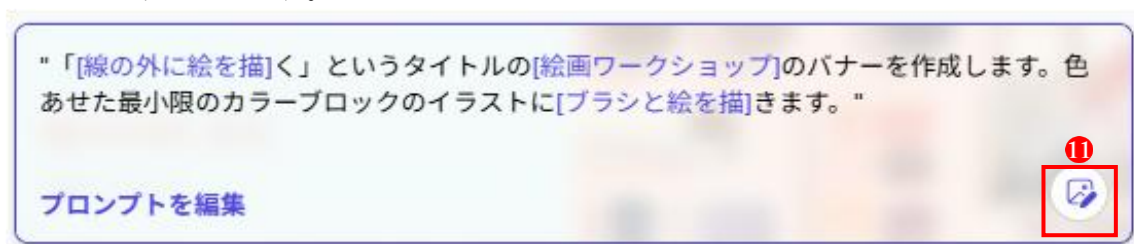


※ 生成された画像が気に入らなかった場合は、プロンプトを書き換えて再度生成を実行するか、上記④のところで、「プロンプト全体を編集する」⑥をクリックして元のプロンプトを無視して全く別のプロンプトを入力して画像を生成してみましょう。

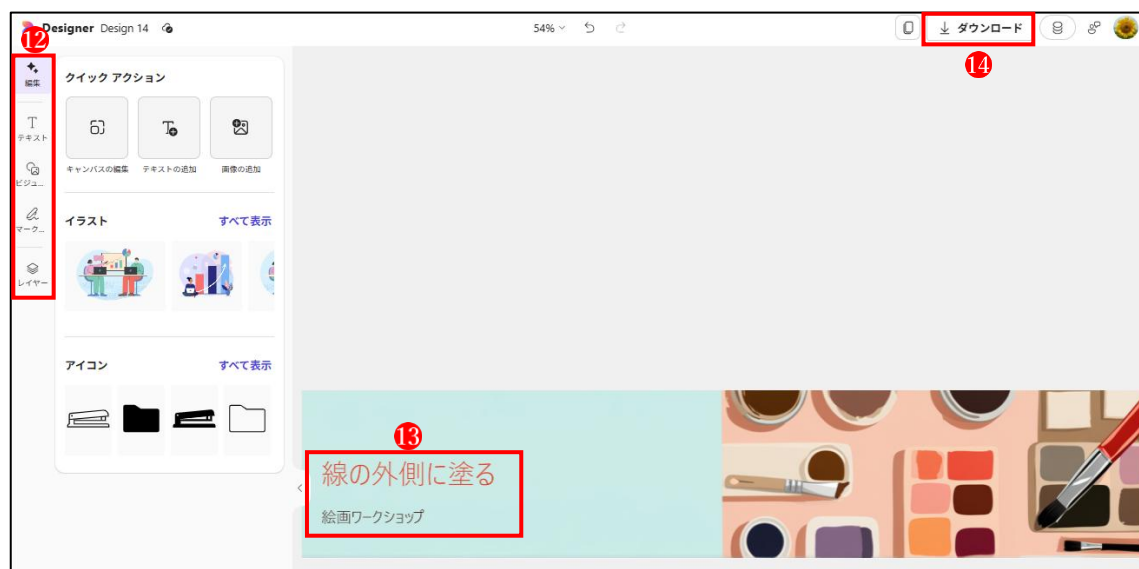
もしくは、別の候補画像を選択して、上記の操作を行ってみます。

(※ただし、画像生成を1回実行するたびにクレジットが1つ消費されます。)

- ⑧ 候補画像の背景をそのまま生かして、テキスト部分だけ編集することもできます。
上記③のところで、右下隅に「バナーを編集」⑪というアイコンが表示されているので、これをクリックします。



- ⑨ 画面が「編集」画面⑫に切り替わります。
ここでは、テキストの編集⑬のほか、画像の追加など様々な編集作業を行うことができます。また、編集が済んだ後にダウンロード⑭することができます。
詳しい編集機能の使い方は、別の教材で解説します。

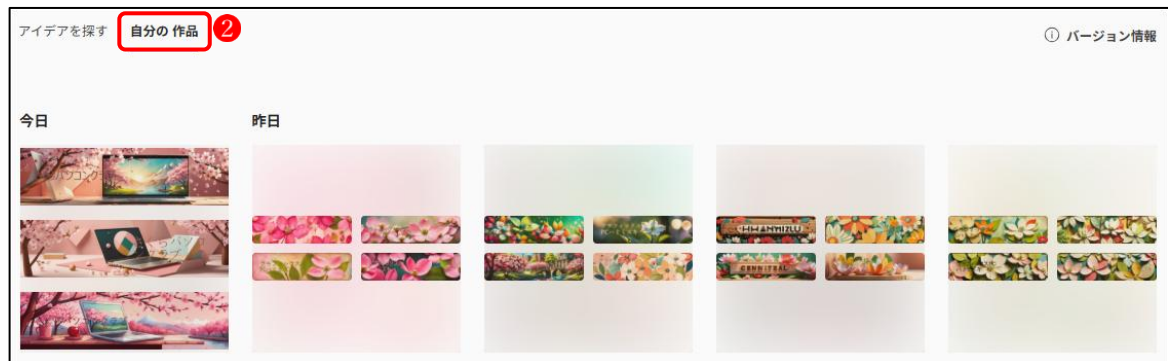


(3) 「自分の作品」に表示されている候補画像から「バナー」を作成する

① 「バナー」①をクリックします。



② 今度は、「自分の作品」②に表示されている候補画像から作成してみます。



③ ここでは、以前作成した「パソコンクラブ さくら」というバナー作品を選択しました。

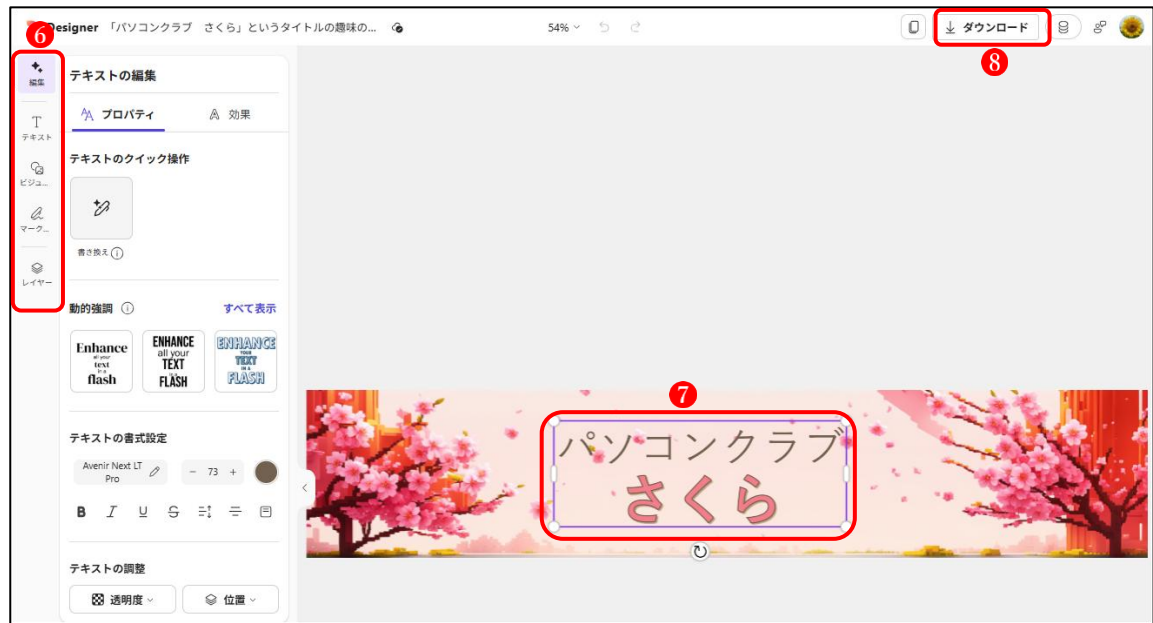


画像は最初の1枚が表示されています。「右矢印」ボタン③をクリックすると残りの作品を表示することができます。

「編集」ボタン④をクリックすると「編集」画面に遷移します。

「ダウンロード」ボタン⑤をクリックすると、選択中の画像をダウンロードすることができます。

- ④ 「編集」ボタン④をクリックすると「編集」⑥画面に遷移します。



ここでは、テキストの編集⑦のほか、画像の追加など様々な編集作業を行うことができます。また、編集が済んだ後にダウンロード⑧することができます。
詳しい編集機能の使い方は、別の教材で解説します。